

高調波検出継電器検査成績書

納入先 _____

検査期日 年 月 日

工事番号 _____

形 式	M-2C52	定 格 電 圧	— V cont.	定 格 周 波 数	Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	5 A cont.	動 作 表 示 器	
準 拠 規 格	JEC-174	整 定 範 囲	L : ~ A	素 子 型 式	MHH-51
制 御 電 圧	DC V		H : ~ A	製 造 番 号	
第5調波検出用			LT : ~ s	器 具 番 号	
			HT : ~ s		

試 験 項 目 ・ 試 験 結 果 温度 _____ °C 湿度 _____ %

試 験 項 目	試 験 内 容	試 験 結 果
構 造 検 査	外観・構造・表示事項及び塗装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回路一括・外箱間：10MΩ以上（規格値）	
耐 電 圧 試 験	回路一括・外箱間：2.0kV 60Hz 1分間	
特 性 試 験	（注）下記項目の試験を実施する。	

1. 制御電源開閉
制御電源の入切、低下、瞬断にて誤動作しないこと。

2. 動作値 （試験周波数： Hz）

L 整 定	A	A	A	A	A	A
動 作 値	A	A	A	A	A	A
H 整 定	A	A	A	A	A	A
動 作 値	A	A	A	A	A	A
判 定 基 準	各 整 定 値 の ± 1 0 % 以 内					

3. 動作時間 （試験周波数： Hz）
〔I整定：最小， 入力：0 → 整定の200%〕

L T 整 定	最 小	最 大	H T 整 定	最 小	最 大	判 定 基 準
	s	s		s	s	
動 作 時 間	s	s	動 作 時 間	s	s	± 1 0 % 以 内

4. 復帰時間 （試験周波数： Hz）
〔I整定：最小， T整定：最大， 入力：整定の200% → 0〕

復 帰 時 間		判 定 基 準
L 要 素	ms	3 0 0 m s 以 内
H 要 素	ms	

5. 周波数特性 〔I整定：最小〕 〈右端の（ ）内は試験周波数を示す。〉

- イ) 整定値の40倍の基本波を印加して動作しないこと。 (Hz)
- ロ) 整定値の19倍の第3調波を印加して動作しないこと。 (Hz)
- ハ) 整定値の9.5倍の第7調波を印加して動作しないこと。 (Hz)

承認	作成